

労働保険の年度更新

労働保険（労災保険・雇用保険）の保険料は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間を単位として計算されることになっており、その額はすべての労働者に支払われる賃金の総額に、その事業ごとに定められた保険料率を乗じて算定します。労働保険の保険料は、年度ごとに概算で保険料を納付し、保険年度末に賃金総額が確定したあとに精算するという方法をとっています。これを「年度更新」といい、事業主は、前年度の保険料を精算するための確定保険料の申告・納付と新年度の概算保険料を納付するための申告・納付の手続きが必要となります。

● いつまでに何をするのか

あらかじめ労働保険番号、事業の所在地・名称、保険料率等が印刷された「労働保険概算・確定保険料/石綿健康被害救済法一般拠出金申告書」（以下「申告書」といいます。）が都道府県労働局から各事業主あてに送付されるので、この書類を使用します。この申告書に必要な事項を記載、事業主印を押印のうえ、保険料等を添えて、金融機関又は所轄都道府県労働局及び労働基準監督署のいずれかに、今年は、6月1日（水）から7月11日（月）までの間に提出します。

● 労災保険率（一部抜粋：令和3年度から変更ありません）

事業の種類	保険率	事業の種類	保険率
林業	60/1000	農業又は海面漁業以外の漁業	13/1000
建築事業（既設建築物設備工事業を除く）	95/1000	卸売業・小売業、飲食店又は宿泊業	3/1000
既設建築物設備工事業	12/1000	その他の各種事業	3/1000

● 雇用保険率

- 令和4年4月から、事業主負担の保険料率が変更になります。
- 令和4年10月から、労働者負担・事業主負担の保険料率が変更になります。
- 年度の途中から保険料率が変更となりますので、今年度の申告書の雇用保険の保険料率欄には、料率の印字はありません。

（令和4年4月1日～令和4年9月30日）

事業の種類	保険率	事業主負担率	被保険者負担率
一般の事業	9.5/1000	6.5/1000	3/1000
農林水産・清酒製造の事業	11.5/1000	7.5/1000	4/1000
建設の事業	12.5/1000	8.5/1000	4/1000

（令和4年10月1日～令和5年3月31日）

事業の種類	保険率	事業主負担率	被保険者負担率
一般の事業	13.5/1000	8.5/1000	5/1000
農林水産・清酒製造の事業	15.5/1000	9.5/1000	6/1000
建設の事業	16.5/1000	10.5/1000	6/1000

※ 農林水産事業のうち、園芸サービスの事業・牛馬の育成、酪農、養鶏又は養豚の事業又は内水面養殖の事業は「一般の事業」の保険料率が適用されます。

● 「算定基礎賃金集計表」の作成時に注意すること

申告書を作成するために「確定保険料・一般拠出金算定基礎賃金集計表」で賃金等の集計を行います。集計表作成時には、下記の事項に注意してください。

<労災保険欄>

- 労災保険欄には、臨時・日雇・パート・アルバイトを含む雇用している労働者全員の賃金・賞与等を記入してください。
- 各支払賃金欄は通勤手当等各種手当も含み、税金や社会保険等を差し引く前の支給総額を記入してください。
- 労災保険の各月人数欄は、各月末（賃金締切日がある場合は月末直前の当該締切日）の使用労働者数を記入してください。賞与等人数欄は支払人員数を記入してください。
- 出向者の労災保険については、出向元で支払われた賃金は出向先の算定基礎賃金に含めて計算します。

<雇用保険欄>

- 雇用保険欄には、雇用保険被保険者全員の賃金・賞与等を記入してください。
- 雇用保険の人数欄は支払人員ではなく、各月末現在の被保険者数を記入してください。
- 令和4年度については、年度途中で雇用保険率に変更される予定であることから、下記の「概算保険料（雇用保険分）算定内訳（算定期間 令和4年4月～令和5年3月）」欄が追加されていますので、下記雇用保険率の適用期間毎に各欄を記入し、その結果を申告書に転記してください。

概算保険料 (雇用保険分) 算定内訳	① 区分(適用期間)		算定期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日		
			② 保険料算定基礎額	③ 保険料率	④ 概算保険料額
	令和4年4月1日～令和4年9月30日	雇用保険分	(イ) 千円	(ハ) 1000分の	(ホ) 円
令和4年10月1日～令和5年3月31日	雇用保険分	(ロ) 千円	(ニ) 1000分の	(ヘ) 円	
合計	雇用保険分	(イ)+(ロ) 千円 申告書⑫欄(ホ)へ転記		(ホ)+(ヘ) 千円 申告書⑭欄(ホ)へ転記	